

ふらっぶ通信

仲良くなりたいというふうか

編集担当者から夏の話題を書くようにと言われ、あえて触れます。

私は蛇が大嫌いです。時々、夢の中で蛇がこちらに向かってくるのに出くわします。布団の上に体が舞い、一度はフスマに当たって止まった事もありました。

ふらっぶに務め始めた頃から気にかかっていることがあります。職場の前の御室川を眺めていると、夏になったらひよつとしたら、と。予想が現実味を帯びてきました。最近、同僚職員が1メートルほどの姿を見たというのです。思わず質問しました。「かなわんかったでしょう!？」。でも彼はそれほどでもない、と平気感を口にするのです。人様々なんですね。

一度だけ親近感を持ったことがあります。かなり昔に、野球の墨審をやった時、立ち位置が草の傾斜地の横でした。そこに体長30センチほどの居たのです。しかし動かないのです。私も立場、動けません。舌をペロペロと出し、エサでも探していたのでしょうか。その時、彼か彼女の、必死に生きる姿を見たように思います。

社会福祉法人
なづな学園
サービスマスター
ふらっぶ

エサを探す姿は人間も一緒です。野球の回が変わる5分間ほどの出来事でした。

とはいえ、やっぱり好きにはなれません。最近、自宅付近にも時々現れるのを私も体験したし、近所の方の話も聞きます。夏が早く通り過ぎるのを待つばかりです。ちなみに「うなぎ」は大好きです。しかし高値に抵抗感もあり、昨年からは全く食していません。こちらの方もこの先仲良くできるでしょうか。

須山



退職職員からの挨拶

このたびふらっぶに1年間務められた佐藤佳紀さんが退職される運びとなりました。すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、改めて皆様へのご挨拶をこの場で掲載したいと思います。

「また会いましょう!」

少し唐突なところからお話しさせて頂きます。

「ひととひととはいかに関わり合うことができるのか。」これは生きるうえで誰しものが必ず直面する課題です。私はこのことがずっとどこかで引掛つていて、これまで考えあぐねてきました。ひとによってはそうした疑問の答えを文学に見出すのかもしれないですが、在学中に福祉施設で造形活動を体験した時に、こうした福祉現場でのコミュニケーションに答えがあるような気がしたのでした。

ふらっぶでとくに機会の多い移動支援。一緒に時間を共にする方と気持ちの良い関わりを探るなかで交わされていくやり取りは、温もりのある即興演劇のようでした。

大学時代に予感した通り、本当に色んなことを教えられました。ありがとうございます。

今回大学院を志望し受験の準備に入る為にふらっぶを退職する運びとなりましたが、また一段落してから改めて顔を出させて頂こうと思っています。またお会いする際は、暖かく迎えて頂ければ幸いです。その時を楽しみに今から心待ちにしています

佐藤佳紀



ふらっぷ職員に聞きました！

あなたの夏の過ごし方は？



青い空！照りつける太陽！ミンミンとせわしなく聞こえる鳴き声！すっかり夏らしくなってきましたね！連日の猛暑の中、涼しい室内で過ごすのもよし、各地のイベントや海やプール、バーベキューなどに出かけアウトドアに過ごすのもよし、皆様はどうお過ごしでしょうか？夏バテはしてませんか？そこで今回はふらっぷ職員の夏の過ごし方について聞いてみました！



冬の寒さにも夏の暑さにも弱い軟弱者の私ですが、クーラーがどうも好きではないのです。日が完全に暮れた後、八時頃、朝顔やハイビスカスに水やりをします。ついでに家の周りや道路に打ち水を少し。また熱を持ったアスファルトが水で冷えると空気が動きます。熱気を帯びていた風が少し涼しくなり、寝る準備のできあがり。水の無駄使い？少しだけ許してください。と謝りつつ、夏をのりきる秘策です。

橋元

数年前の夏は岸和田のお祭りが近づいてきていて、その準備と体づくりの毎日を過ごしていました。が、ここ数年はお祭りの参加もなくなり、これといった過ごしはない悲しい毎日です・・・。そして去年の夏は熱中症でばててしまったので今年はとにかく水分補給をこまめにとっています。当事務所の副所長の橋元さんより、どんな飲み物が良いのかなどレクチャーを受けながら、今年こそは元気に夏を乗り越えたいと思っております。

武野



夏の過ごし方で特にこれをするというものはありませんが、夏は新しいことをやる季節かな？と個人的に思っております。一昨年は五山の送り火を愛用のクロスバイクで見に行きました。なぜ自転車かと言いますと五山の全ての送り火を見ようと思ひまして初めに点灯される「左大文字」から「妙法」↓「舟形」↓北山の「大文字」↓「鳥居」と順に走っておりますが、「鳥居」のみ間に合いませんでした。因みに去年は山登りでした。

松田





TUBEの歌ではないですが、毎年夏が終わる頃に、終わらないでくれ!と思っています。

海へ行ったり、虫採りしたり、釣りをしたり、やらなければいけないことがたくさんあります。暑さに負けず9月中にはやり終えたいなと思っています。

渡邊



私の夏は室内で過ごすことが多いです。京都の夏はものすごく暑く、日差しも強いので日中の外出はためらってしまいます。

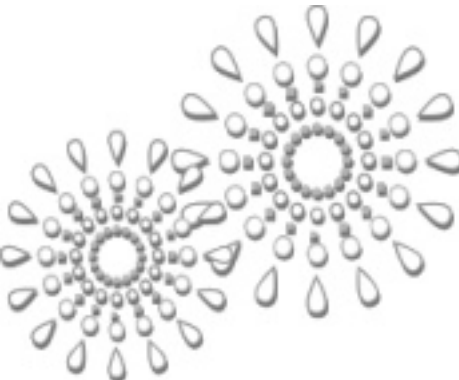
しかし、「ひとつくらいは夏らしいことをしたいな」という気持ちもあるので、花火大会に行くことが多いです。涼しくなってきた夕刻、「ドン!」と大きな音がした後に「パラパラパラ...」と燃え尽きるまでの花火の様子を眺めていると、「今年も夏が終わっていくな」と、なんともいえない気分になりつつ、季節の移ろいを感じます。

瀧本

夏といえば夏休み!幼い頃は家族で海に行ったり川に行ったりとアクティブに過ごしておりましたが、最近は専ら出かけることが少なくなってきました。小学生の頃は友達や兄弟と毎日外で遊び、中学生の頃は部活に励み...。今思い出しても毎年充実した日々を送っていました。

今は強い日差しを避けるために屋内で過ごすことが多いです。少しもつたいない気がするので、たまにはスポーツでもして汗を流したいなあと思います!

長畑



私は「夏は外で遊ぶ!」というのが幼い頃からの習慣なので、外で遊ばないと何故か損した気分になります。昨年の通信で「ひまわり」の話を書きましたが、今年は早い時期から暑いせいか上手く育たず「ひまわり畑」がなくて少しさびしい思いをしています。ひまわりが負けるほど本当に暑い毎日:市内は日差しも一段ときつい気になっています。おかげで何をやるわけでもなく、気が付けばよい感じに日焼けしてしまいました(笑)それでも適度に外へ出て遊びたいと思っています。熱中症にならない程度に...!

柳原

中学1年生の頃、半年間だけ剣道部に所属していた私は、真夏の体育館で氷のように冷たく冷やした飲み物をガブ飲みしておりました。案の定体調をとって崩し剣道部を辞めることに!なおかつ学校も長いこと休むはめになりました(笑)

その教訓を生かし夏でもなるべく常温で飲み物を飲んでいきます。さらに寝る前に温かいものを飲むとお腹にも優しく、夏バテにもいいらしいと聞き、さっそく最近流行のハーブティーや昆布茶で実践しております。今年の夏も頑張っていこうと思います!

元木



岡崎界限にある動物園！

～京都市動物園～

おすすめスポット

利便性に優れた左京区にある動物園「京都市動物園」。
ほ乳類、鳥類、は虫類・両生類と数多くの動物たちが飼育されています！
動物が好きな方は一度は訪れたことがあるのではないのでしょうか？

そんな京都市動物園内に、今年新しくオープンしたその名も「ゾウの森」をご紹介します！
今年2月に一部オープンし、すでに多くの人気を集めているゾウの森ですが、ついに7月4日にフルオープンとなりました！
オス用、メス用のグラウンドと合わせて2千平方メートルもあります。
広いグラウンドやプール、遊具でのんびりマイペース、時には元気いっぱい過ごしているゾウたちの様子が間近に見れるようになりました！
現在、大ベテランの先輩ゾウ美都ちゃん、ラオスからやってきた子ゾウたち4頭と合わせて5頭のゾウが飼育されています。
小ゾウたちは新しい名前もついて、日々元気に成長しているそうです！

園内もレンガを敷き歩きやすくなっていたり、ヤギのはね橋を作るなどより動物たちを身近に感じられる工夫も凝らしています！
ゾウだけではなくコウモリやレッサーパンダなど様々な動物の赤ちゃんも誕生し、どんどんにぎやかになっていく京都市動物園に皆様も今一度訪れてみてはいかがでしょうか？

[入場料]
一般・600円
中学生以下 無料
手帳提示でご本人と介助者の料金は無料
[アクセス]
地下鉄 蹴上駅から徒歩5分



編集担当のしずまゆ

8月に入り、35度を超える猛暑日が続き、太陽が眩しい季節となりました。学生たちはお楽しみみの夏休み！宿題に追われる季節でもありませんね。大人にとってもお盆休みで、つかぬ間の連休をそれぞれお過ごしになったことでしょうか。ということで、今回はふらっぷ職員にそれぞれ「夏の過ごし方」というテーマで語ってもらいました。それぞれ個性的で、共感できるどころ、そうではないところ多々あったでしょうが、参考にして頂ければと思います。

編集担当はといえば、ふらっぷに
来てからというものの、お休みの日は
何かしら外に出ないと「一日損した！」
と思うようになり、どこかしらに出
かけております。暑い日が続く日でも
その想いは変わらず最近では、涼
しくなる夕方から繰り出しております。
す。ようは夜遊びとも言えますね
(笑)京都に生まれてよかったと思う
ことは、日本三大祭りである祇園祭
に、ロマンのある七夕祭り、伝統と
個性を感じさせる陶器市と、数々の
イベントごとが長年繰り返され、毎
年変化しているところだなとしみじ
み感じた夏でした。

最後に皆様くれぐれも熱中症には
お気をつけください。また次号でお
会いしましょう。
R